

心電図検査ってどんな検査？



特徴的な波形

検査結果の中から、特に特徴のある波形を掲載しています。

正常
心室性期外収縮
心房性期外収縮
心房細動

※期外収縮とは…異常な刺激によって心臓が本来の周期を外れて早く収縮する不整脈のこと。
※心房細動とは…心房が本来の動きを外れて細かく動く不整脈のこと。

↑ 心臓の構造

上大静脈 大動脈 肺動脈 下大静脈
右心房 左心房 個帽弁
肺静脈 左心室
肺動脈弁 三尖弁 右心室

心臓の構造

期外収縮は自覚症状がない場合が多いですが、胸痛や動悸、めまいなどの症状が出る方もいます。心房細動は意識を失う場合が多く、AEDなどの除細動器が必要になります。

心電図検査の流れ

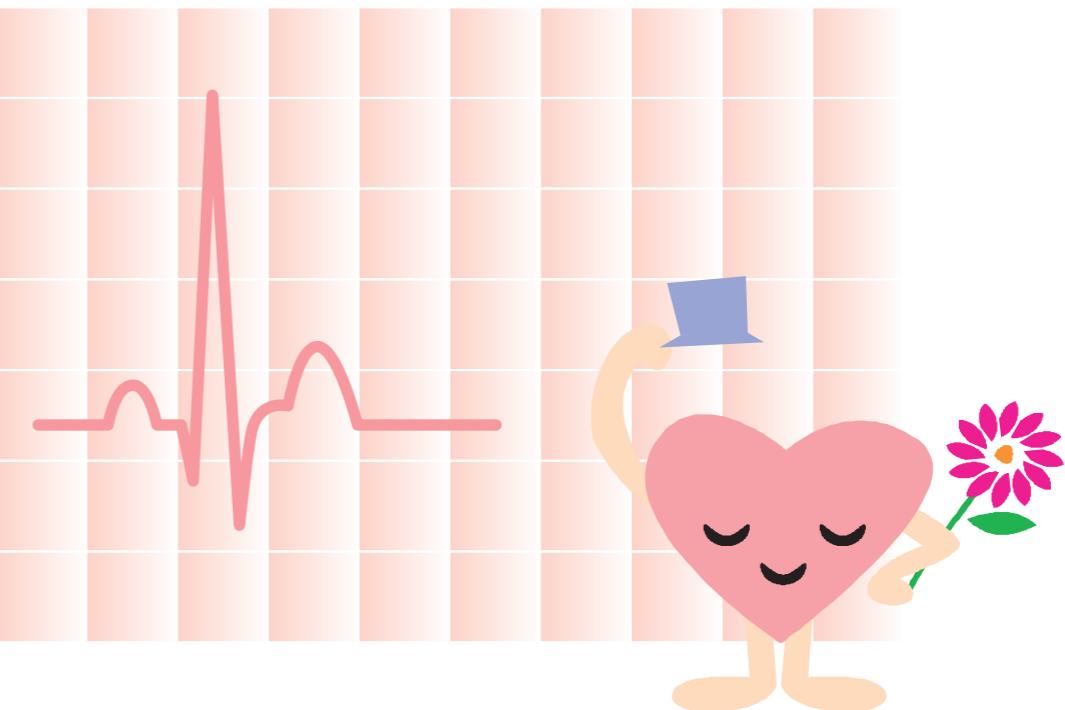
- 1. 受付**
2階にある検査受付4番で受付を行います。廊下にある検査8前の椅子にかけてお待ちください。順番にお呼びします。
- 2. 検査準備**
お部屋に入り、手首・足首・上半身の衣服をまくり、ベッドにあお向けにお休みください。
- 3. 検査**
両手首・足首に4つのクリップ式、胸には6つの吸盤式の電極をつけていきます。

心電図で記録している波で分かることは？

心電図で記録された波形では「脈の乱れ」「動悸」「胸の痛み」「呼吸困難」「心臓が肥大していないか」などの原因をチェックしています。脈の乱れや動悸の原因である「不整脈の種類」、胸の痛みに伴う「虚血性心疾患・心筋梗塞」が分かりますが、他の検査とあわせての判定となるので、詳しい結果は主治医の説明をお聞きください。

心電図はベッドに寝なければダメなの？

原則的にベッドに寝ていてくださいて検査を行っています。しかし車いすで来ていってベッドへの移動が難しい方はお申し出ください。車いす上で検査を行います。



皆さん、「心電図」と聞くと「あの、くすぐったい検査ね。」と思われるかもしれません。病院ではなくて学校や職場の健康診断で受けられたことがある方も多く思います。今回この「くすぐったい」「心電図」は、主にどんな検査で何が分かるのかをご紹介したいと思います。

心電図は痛くないの？

心電図の所要時間はお着替えなどの準備を含めて約5分と、とても短く痛くない検査です。「ピリピリしない？」との声がよく聞かれます。心電図は心臓に流れる微量な電流を身体の表面から記録しているものであり、身体に電流を流すものではないので「ピリピリ」はしません。安心して受けてくださいね。



心電図で手首・足首・胸に電極をつけます。各々の部位の衣服をまくって、あお向けに寝ていただければ準備完了です。あとは深呼吸をして気持ちは落ち着かせれば検査開始となります。お薬やお食事もいつも通りで大丈夫です。

これなあに？

何が必要？ 食事はどうて良いの？

心電図で胸に塗るクリームは「ケラチンクリーム」といいます。皮膚の抵抗を下げて電気の伝導を良くするためのもので、検査終了時にふき取ります。手足についている電極が冷たいと感じられる方もいるでしょう。これも伝導を良くするための「生理食塩水」で濡れています。すぐ乾きますので心配りません。



白いクリームの正体とは？

